

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：健康・スポーツ科学科

資格：講師

氏名：田中 美吏

| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
|------------------|--|
| スポーツ心理学、運動の制御と学習 | 心理的プレッシャー、あがり、ストレス、注意、情動・感情、スランプ、イップス、メンタルトレーニング |
| 学位 | 最終学歴 |
| 博士（学術） | 広島大学大学院 生物圏科学研究科 博士課程後期修了 |

| 教育上の能力に関する事項 | | |
|------------------------------|-----|----|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | |
| | | |
| 2 作成した教科書、教材 | | |
| | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| | | |
| 4 その他 | | |
| | | |

| 職務上の実績に関する事項 | | |
|------------------------------|----------------------|--------------|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 資格、免許 | | |
| 1. スポーツメンタルトレーニング上級指導士 | 2017年4月1日～現在 | 日本スポーツ心理学会認定 |
| 2. スポーツメンタルトレーニング指導士 | 2007年4月1日～2017年3月31日 | 日本スポーツ心理学会認定 |
| 2 特許等 | | |
| | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| | | |
| 4 その他 | | |
| | | |

| 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--|---------|------------|--|--|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
| 1 著書 | | | | |
| 1. 新スポーツ心理学 | 共 | 2015年9月30日 | 嵯峨野書院 | 伊達萬里子（編）・松山博明・田中美吏・三村 覚・高見和至 担当章 第2章スポーツスキルの制御と学習（pp. 10-31） 第3章スポーツスキルの効果的な学習法（pp. 32-57） 第9章スポーツにおける「あがり」（pp. 129-149） |
| 2 学位論文 | | | | |
| 1. プレッシャーが運動スキルに及ぼす影響 | 単 | 2008年3月 | | 博士論文 広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期 |
| 2. 一過性心理的ストレスがゴルフパッティングに及ぼす影響 | 単 | 2005年3月 | | 修士論文 広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程前期 |
| 3 学術論文 | | | | |
| 1. Increased corticospinal excitability and muscular activity in a lower limb reaction task under psychological pressure | 共 | 2017年 | Journal of Functional Morphology and Kinesiology, 2(2), 14. | Original article（査読あり） Tanaka, Y. & Shimo, T. |
| 2. 心理的プレッシャー下における不安定場での立位姿勢制御：下肢筋活動と足圧中心からの評価 | 共 | 2016年 | 体育学研究, 61, 289-300. | 研究資料（査読あり） 田中美吏・霜 辰徳・野坂祐介 |
| 3. Spinal reflexes during postural control under psychological pressure | 単 | 2015年 | Motor Control, 19, 242-249. | Research note（査読あり） |
| 4. Psychological pressure facilitates corticospinal excitability: Motor preparation processes and EMG activity in a choice reaction task | 共 | 2014年 | International Journal of Sport and Exercise Psychology, 12, 287-301. | Original article（査読あり） Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Sasaki, J., & Tanaka, Y.M. |
| 5. 大学生スポーツ選手の競技不調時の特徴 | 共 | 2013年 | 近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）, 3, 73-81 | 実践論文（査読あり） 田中ゆふ・藤井純一・田中美吏 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|---|-------------|---------------|---|---|
| 3 学術論文 | | | | |
| 6. 投球動作前の確率情報を伴う球種予測に顕在的・潜在的知覚トレーニングが及ぼす影響 | 共 | 2013年 | スポーツ心理学研究, 40, 109-124. | 原著論文 (査読あり) 田中ゆふ・関矢寛史・田中美吏 平成26年度日本スポーツ心理学会最優秀論文賞受賞論文 |
| 7. プレッシャーが野球打者の予測スキルに及ぼす影響 | 共 | 2012年 | 近畿大学教養・外国語センター紀要 (一般教養編), 2, 13-22. | 原著論文 (査読あり) 田中ゆふ・田中美吏・関矢寛史 |
| 8. Modulation of corticospinal motor tract excitability during a fine finger movement under psychological pressure | 共 | 2012年 | International Journal of Sport and Health Science, 10, 39-49. | Original article (査読あり) Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., & Murayama, T. |
| 9. The influence of monetary reward and punishment on psychological, physiological, behavioral, and performance aspects of a golf putting task | 共 | 2011年 | Human Movement Science, 30, 1115-1128. | Original article (査読あり) Tanaka, Y. & Sekiya, H. |
| 10. Multiple EMG activity and intracortical inhibition and facilitation during a fine finger movement under pressure | 共 | 2011年 | Journal of Motor Behavior, 43, 73-81. | Original article (査読あり) Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Sasaki, J., & Takemoto, T. |
| 11. 障害物回避の見積もり能力に関する発達障害児と健常児の比較 | 共 | 2011年 | 理学療法科学, 26, 105-109. | 原著論文 (査読あり) 島谷康司・関矢寛史・田中美吏・長谷川正哉・沖貞明 |
| 12. Effects of explicit and implicit perceptual training on anticipation skills of baseball beginners | 共 | 2011年 | Asian Journal of Exercise & Sport Science, 8, 1-15. | Original article (査読あり) Tanaka, Y.M., Sekiya, H., & Tanaka, Y. |
| 13. Factor analysis of the mechanisms underlying "choking under pressure" in sports | 共 | 2010年 | Asian Journal of Exercise & Sport Science, 7, 55-60. | Original article (査読あり) Murayama, T., Sekiya, H., & Tanaka, Y. |
| 14. The relationships between psychological/physiological changes and behavioral/performance changes in a golf putting task under pressure | 共 | 2010年 | International Journal of Sport and Health Science, 8, 83-94. | Original article (査読あり) Tanaka, Y. & Sekiya, H. 2011年度日本体育学会奨励賞受賞論文 |
| 15. プレッシャーがボールバウンド課題に及ぼす影響 | 共 | 2010年 | 人間工学, 46, 102-110. | 原著論文 (査読あり) 田中美吏・山本剛裕・関矢寛史 |
| 16. The influence of audience and monetary reward on putting kinematics of expert and novice golfers | 共 | 2010年 | Research Quarterly for Exercise and Sport, 81, 416-424. | Original article (査読あり) Tanaka, Y. & Sekiya, H. |
| 17. 「あがり」の発現機序の質的研究 | 共 | 2009年 | 体育学研究, 54, 263-277. | 原著論文 (査読あり) 村山孝之・田中美吏・関矢寛史 2010年度日本体育学会奨励賞受賞論文 |
| 18. Postural control of children with developmental disorders | 共 | 2009年 | Journal of Physical Therapy Science. 21, 7-11. | Original article (査読あり) Shimatani, K., Sekiya, H., Tanaka, Y., Hasegawa, M. & Oki, S. |
| 19. スポーツにおける「あがり」の原因帰属と性格の関係 | 共 | 2009年 | 人間科学研究 (広島大学大学院総合科学研究科紀要 I), 4, 1-9. | 原著論文 (査読あり) 木村展久・村山孝之・田中美吏・関矢寛史 |
| 20. プレッシャーが全身協応運動に及ぼす影響 | 共 | 2009年 | スポーツ心理学研究, 36, 103-114. | 原著論文 (査読あり) 田中美吏・瓜本健助・村山孝之・関矢寛史 2010年度日本スポーツ心理学会優秀論文奨励賞受賞論文 |
| 21. くぐり動作における身体接触の実証的研究—発達障害児は物にぶつかることが多い— | 共 | 2008年 | 理学療法科学, 23, 721-725. | 原著論文 (査読あり) 島谷康司・田中美吏・金井秀作・大塚 彰・沖 貞明・関矢寛史 |
| 22. Do children with developmental disorders have low gross motor abilities?: A comparison with normal children, using motor ability tests for young children | 共 | 2008年 | Current Pediatric Research, 13, 9-12. | Original article (査読あり) Shimatani, K., Tanaka, Y., Hasegawa, M., Oki, S., & Sekiya, H. |
| 23. 時間切迫が運動スキルの遂行に及ぼす影響 | 共 | 2007年 | 体育学研究, 52, 443-451. | 原著論文 (査読あり) 村山孝之・田中美吏・菅井若菜・関矢寛史 |
| 24. ゴルフ競技におけるポジティブおよびネガティブ感情とパフォーマンスの関係 | 共 | 2007年 | 人間科学研究 (広島大学大学院総合科学研究科紀要 I), 2, 93-99. | 原著論文 (査読あり) 田中美吏・関矢寛史 |
| 25. パートナーと運動課題を行うときの対人ストレスが運動スキルに及ぼす影響 | 共 | 2007年 | 広島体育学研究, 33, 33-41. | 原著論文 (査読あり) 田中美吏・関矢寛史 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-------------|---|---|
| 3 学術論文 | | | | |
| 26. 注意の変化およびプレッシャーが知覚運動スキルの流暢性に及ぼす影響 | 共 | 2007年 | 人間科学研究 (広島大学大学院総合科学研究科紀要 I), 2, 71-80 | 原著論文 (査読あり) 坂本佑次・田中美吏・関矢寛史 |
| 27. 一過性心理的ストレスがゴルフパッティングに及ぼす影響 | 共 | 2006年 | スポーツ心理学研究, 33 (2), 1-18. | 原著論文 (査読あり) 田中美吏・関矢寛史 |
| その他 | | | | |
| 1. 学会ゲストスピーカー | | | | |
| 1. 心理的プレッシャーとスポーツパフォーマンス—運動制御からの理解— | 単 | 2015年8月26日 | 第66回日本体育学会 (国士舘大学、東京) | 体育心理学領域キーノートレクチャー |
| 2. 運動の制御と学習からのアプローチ: 理論と実践 | 単 | 2015年10月4日 | 第10回スポーツメンタルトレーニングフォーラム・イン・関西 I | 分科会講師 |
| 2. 学会発表 | | | | |
| 1. 心理的プレッシャー下における力動的知覚 | 単 | 2016年9月9日 | 第25回運動学習研究会 (大阪体育大学、大阪) | 口頭発表 |
| 2. 心理的プレッシャー下における姿勢制御機能—下肢筋活動と足圧中心からの評価— | 共 | 2016年8月26日 | 日本体育学会第67回大会 (大阪体育大学、大阪) | 口頭発表 田中美吏・霜 辰徳 |
| 3. Increased corticospinal excitability and muscular activity in a lower limb reaction task under psychological pressure | 共 | 2015年6月4日 | NASPSA (North American Society for the Psychology of Sport and Physical Activity) 2015 conference (Portland, OR, USA) | Poster presentation Yoshifumi Tanaka and Tatsunori Shimo |
| 4. 心理的プレッシャー下における運動制御機能—姿勢制御や対処法の研究— | 単 | 2015年5月30日 | 平成27年度第1回関西体育心理例会 (近畿大学、大阪) | 口頭発表 |
| 5. 心的動揺に対する姿勢制御機能 | 共 | 2015年3月2日 | 第23回運動学習研究会 (琉球大学、沖縄) | 口頭発表 田中美吏・霜 辰徳・野坂祐介・関屋昂樹・島谷康司 |
| 6. 打撃に必要な瞬時予測能力は知覚トレーニングによって向上するのか?—意識・無意識に着目した学習効果の検討— | 共 | 2015年12月12日 | 日本野球科学研究会2015 | ポスター発表 田中ゆふ・関矢寛史・田中美吏 |
| 3. 総説 | | | | |
| 1. スポーツ選手の「あがり」の対処法に関する実践的研究—パフォーマンスルーティンに着目して— | 共 | 2017年 | 健康運動科学 | 査読あり 柄木田健太・田中美吏 |
| 2. 心理的プレッシャー下におけるゴルフパッティング: 症状と対処に関する実験研究 | 単 | 2014年 | 体育学研究, 59, 1-15 | 査読あり |
| 3. “あがり”とファインモーターコントロール | 共 | 2011年 | バイオメカニクス研究, 15, 167-173. | 吉江路子・田中美吏・村山孝之・工藤和俊・関矢寛史 |
| 4. 芸術 (建築模型等含む) ・スポーツ分野の業績 | | | | |
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| 1. エンデュランストレーニングの科学—持久力向上のための理論と実践— | 共 | 2015年8月2日 | 有限会社ナップ (NAP Limited) | 翻訳書 第20章持久力の心理学, pp. 177-187 第22章健康のための持久力トレーニング, pp. 201-208を担当 長谷川 博 (監訳) 長谷川 博・中村大輔・安松幹展・桜井智野風・久保啓太郎・榎屋光男・伊藤静夫・相澤勝治・鬼塚純玲・田中美吏・安藤創一・加藤晴康 (訳者一覧) |
| 2. リカバリーの科学—スポーツパフォーマンス向上のための最新情報— | 共 | 2014年9月15日 | 有限会社ナップ (NAP Limited) | 翻訳書 第5章リカバリーの心理学, pp. 49-58を担当 長谷川 博・山本利春 (監訳) 長谷川 博・山本利春・桜井智野風・中村大輔・田中美吏・山口太一・安松幹展・鬼塚純玲・依田珠江・笠原政志・太田千尋 (訳者一覧) |
| 3. 福井県スポーツ選手の競技不安について | 共 | 2014年 | 平成25年度福井県スポーツ選手の健康・心理・栄養面における実態について (報告) | 報告書 田中美吏・勝木豊成 |
| 4. 福井県スポーツ選手の競技不安について | 共 | 2013年 | 平成24年度福井県スポーツ選手の健康・心理・栄養面における実態について (報告), 15-29. | 報告書 勝木豊成・田中美吏 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-----------------|--|--|
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| 5. 脊髄反射運動制御機構に対する感情および注意の影響 | 単 | 2013年 | 財) ミズノスポーツ振興財団2012年度スポーツ科学等研究助成報告書. | 研究成果報告書 公開外部URL http://www.mizuno.co.jp/zaidan/ikagaku/josei_2010.aspx |
| 6. プレッシャー下における運動制御の神経生理学的検討 | 単 | 2011年 | (財) ミズノスポーツ振興財団2009年度スポーツ科学等研究助成報告書 | 研究成果報告書 公開外部URL http://www.mizuno.co.jp/zaidan/ikagaku/josei_2000.aspx |
| 7. スポーツユニットにおける教育の現状と課題 | 単 | 2010年 | 人間環境科学 (帝塚山大学人間環境科学研究所紀要), 19, 103-115 | 報告書 |
| 8. 心理的プレッシャーによってなぜ運動パフォーマンスが低下するか?—認知的側面と行動的側面の影響— | 共 | 2008年 | ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMF S) チャレンジ研究助成報告書 | 研究成果報告書 田中美吏・三木ゆふ・村山孝之・三宅浩亮 |
| 6. 研究費の取得状況 | | | | |
| 1. 心理的プレッシャー下における身体運動—力動的知覚とのインタラクション— | 共 | 2016年4月現在 | 科学研究費補助金・基盤研究 (C) | 研究代表者 連携研究者: 村山孝之氏 (金沢大学)・田中ゆふ氏 (近畿大学)・五藤佳奈氏 (武庫川女子大学) 直接経費370万円、間接経費111万円 |
| 2. 心的動揺に対する運動制御機構—姿勢制御機能と皮質脊髄路の興奮性の精緻な解明— | 単 | 2013年4月2016年3月 | 科学研究費補助金・若手研究 (B) | 研究代表者 直接経費340万円、間接経費102万円 |
| 3. 脊髄反射運動制御機構に対する感情および注意の影響 | 単 | 2012年4月～2013年3月 | 財団法人ミズノスポーツ振興会2012年度スポーツ科学等研究助成 | 研究代表者 助成金額100万円 |
| 4. 心的動揺に対する運動制御機構—脊髄反射回路の解明と非侵襲的脳刺激の導入— | 単 | 2011年6月～2013年3月 | 科学研究費補助金・若手研究 (B) | 研究代表者 直接経費350万円、間接経費105万円 |
| 5. プレッシャー下における運動制御の神経生理学的検討 | 単 | 2009年4月～2010年3月 | 財団法人ミズノスポーツ振興会2009年度スポーツ科学等研究助成 | 研究代表者 助成金額100万円 |
| 6. 心理的プレッシャーによってなぜ運動パフォーマンスが低下するか?—認知的側面と行動的側面の影響— | 共 | 2007年4月～2008年3月 | ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMF S) チャレンジ研究助成 | 田中美吏 (研究代表者)・三木ゆふ・村山孝之・三宅浩亮 助成金額110万円 |

学会及び社会における活動等

| 年月日 | 事項 |
|-----|----|
| | |